

# 友好の絆を

## 日中友好「少年少女の翼」に参加



### 「少年少女の翼」で学んだこと

一関市立東山中学校

本多由樹子さん



「少年少女の翼」に参加して印象に残ったことは、万里の長城と三帆中学校の訪問です。万里の長城は世界遺産で、宇宙から地球を

見たときに唯一、見える建造物なので前から登ってみたいと思っていました。道はデコボコで、階段が急で大変でしたが景色はとてきれいで本当に感動しました。また機会があったら訪れたいです。三帆中学校では在校生のみなさんがペアになって学校を案内してくれました。私はツアンさんとペアになりました。中国語が話せない私にツアンさんは英語で話しかけてくれたので、私も英語で話すこ

とができました。どの教室も設備が整っていて驚きました。特に生物教室は一人一人に顕微鏡が用意されていました。日本の中学校でもここまで設備が整っている学校は珍しいと思います。交流会やプレゼント交換も行い、楽しい時間を過ごしました。この生徒の皆様さんは英語がとて流畅で、レベルの違いを実感しました。また今回の旅行で気づいたことは、日本では当たり前のことが中国では通用しないこともあるということです。例えば日本では順番が来るまで並びます。でも中国では並んで待つという文化が無いように感じました。日本人のマ



ツアンさんとツーショット

ナーの良さを改めて感じました。この旅で、全国の中学校二年生と同じ班で活動しました。多くの地域からいろんな考えを持った同級生が集まり、とても刺激を受けました。みんなとてもしっかりしていました。みんななどのたくさん楽しい思い出が出来、仲良くなっ

て帰ってきました。これからもこの出会いを大切にしていって、連絡を取り合っていきたいです。

### 中国・北京を訪れて

宮古市立重茂中学校

佐々木秀崇君



この4泊5日間はとて短い期間でしたが、すばらしい体験ができ、多くのこ

とを学んでくることができました。

まず、中国の大きさを実感することができました。万里の長城は6千キロもあり、とても長く、また北京市内にある天安門前広場は百万人もの人々が集まれるという、とても広い場所だったことに驚きました。

日本にあるものとはスケールが全然違いました。食事は食べきれないほどの料理がたくさん出てきました。食事のとき日本では水が出てきますが、中国では炭酸飲料水が出てきたことにも驚かされました。四川料理は辛かったですが、本場の味を味わうことができました。

僕たちの訪問先の北京市の中学校の生徒は英会話が出来て、学力がとて高かったです。中国では一人っ子政策なので親からの期待が高いそうです。だから、勉強をとて頑張っているそうです。僕は英会話がほとんど出来ず、質問されたことに答えることができませんでした。一緒にバスケットボールをして楽しむことができました。

また今回、「少年少女の翼」で一緒になった全国から集まった班の仲間たちとは中国のすばらしいところや自分の出身県の良いところについて話をしました。短い時間しか一緒に過ごしていませんが充実していました。班のみんなとの出会いに感謝します。

僕は初めての海外旅行でしたので中国にいる間は不安でした。日本に帰ってきた時はとて安心しました。この日中友好「少年少女の翼」に参加したことで、とて視野が広がりました。このことを学校の仲間にも伝え、これからの生活に活かしていきたいと思っています。このような機会を与えていただきありがとうございます。

